

テレビ電話で営農相談

三重・JA伊勢 組合員との関係維持

生産資材店舗からテレビ電話で営農指導員に相談する生産者
(三重県玉城町で)



【三重・伊勢】JA伊勢は、経済センターの集約に合わせて、生産者が営農指導員にテレビ電話をかけられる「テレビ相談システム」を導入した。資材店舗や集荷場などに機器を設置。営農相談に迅速に対応し、組合員との関係維持を狙う。JAは今月、管内4

カ所にあった経済センターを営農部門に集約し、伊勢市の小俣支店に拠点を移転した。営農部門拠点には営農指導員を集約。作物別に専任化した指導員が、広域に出向いて営農指導を展開する。テレビ相談の機器は、営農部門拠点と本店の経済部門、経済セ

ンターに隣接する生産資材店舗や集荷場など8カ所に設置。生産者はスイッチを押すだけで、テレビ電話で営農指導員に相談できる。

集約した経済センターで最も遠い所は、営農部門拠点から車で片道約50分。テレビ電話ならば、生産者が拠点まで足を運ぶことなく気軽に相談できる。

JA営農部の喜早光雄部長は「基本的には生産者の元へ出向いて営農指導をしていくが、同システムで広くカバーしたい。質問や問い合わせにすぐに対応し、これまで以上に身近なJAとなるよう活用していきたい」と話す。